

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年以前	根拠法令・例規等	備前市補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	担当課(室)	社会福祉課
	中項目	基本計画	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	職・氏名	課長補佐 春森 弘晃
	小項目	施策	20 障がいのある人への福祉の充実	電話	64-1824
事務事業名		01	戦没者追悼事業	このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の戦没者遺族	
目的(何のために)	戦没者及び遺族に対し、慰霊の意を表すため戦没者追悼式を実施する。 戦没者遺族連合会に対し、会の運営助成を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	戦没者の慰霊と、追悼式への出席者を増やすとともに、出席者に満足してもらえる追悼式を実施する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	戦没者追悼式事業	戦没者追悼式実行委員会に委託を行い、戦没者及び遺族に対し慰霊の意を表すための追悼式を実施する。	○
	戦没者遺族連合会補助事業	戦没者遺族連合会に対し、会の運営助成を行う。	▲

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	1,142	886	954
	必要人員	人	0.12人	0.30人	0.22人
	費事費	千円	2,223	3,560	2,878
財源	国・県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金(市債)	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	2,223	3,560	2,878
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	戦没者追悼式参加人数	説明	戦没者追悼式に参加した人数		
	結果指標量	人	300	300	300
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,223	3,560	2,878
	単位当たりコスト	円	7	12	10

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
戦没者追悼式参加者	成果指標名	目標値 (A)	350	350	350	350
		実績値 (B)	300	300	300	到達目標値
		達成率 (B/A)	85.71%	85.71%	85.71%	85.71%
成果指標設定の考え方・式や説明						
戦没者追悼式への参加者を減らさない。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明			○						
			追悼式の委託料について、大幅な減額は困難である。						

総合評価		総合評価
戦後68年が経過し、遺族の高齢化が進み出席者の増加もあまり見込めない。今後、市内での追悼式開催は、休日開催などで家族での出席を可能にするなどの工夫が必要と考える。同時に、県遺族連盟主催の追悼式への参加補助なども検討していく必要があると考える。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標			○						
			委託業務に加えることが可能な業務がないか検討し、経費の削減とともに、職員員数も削減していきたい。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を定める成果指標を評価